

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

601 ㊦ **should** [シュッド] ※ should は shall の過去形 → 【単語帳 No. 595 … shall】参照。

- ㊦ ① ~すべきである  
② <<shall の過去形>>

- ① **should** は shall の過去形だが、おもに現在形の文で使い、「~すべきである」の意味になる。  
② 時制の一致を受けるときには、shall が過去形になって、**should** になる。

<<短縮形>> **should** not = **shouldn't**

☆ **should** を使った文はふつう、had better ~ 「~したほうがよい」を使った文と書き換えができるが、日本語訳に反して、had better ~ のほうが **should** よりも強い言い方になる。

※ had better ~ → 【No. 488 … better】

**should** は must 「~しなければならない」と比べても、やわらかい表現である。

→ 【単語帳 No. 588 … must】

You **should** go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行くべきだ。』

= You had better go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行ったほうがよい。』

※ had better は **should** よりも強い表現。

Which train **should** I take to go to Osaka?

『大阪に行くには私はどの電車に乗るべきですか?』

We **shouldn't** stay here long.

『私たちはここに長く滞在すべきではない。』

☆ 時制の一致を受けるときは、shall が過去形になる。

I thought (that) I **should** [would] leave soon.

『私はすぐに出発しようと思いました。』

※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の後ろの文の時制も過去形になる。

→ くわしくは、かんたん英文法【時制の一致】

602 ㊦ **if** [イフ]

㊦ もし~ならば

※ <<時・条件>>を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。

例えば、「明日雨が降ったら」という文では、未来(明日)のことも現在形を使ってあらわす。

詳しくは、かんたん英文法【接続詞 <<時・条件>>を表す副詞節】参照。

**If** you are busy now, I will help you. … ①

= I will help you **if** you are busy now. … ②

『もしあなたが今忙しいなら、私があなたを手伝います。』

**If** it rains tomorrow, we can't play tennis. … ①

= We can't play tennis **if** it rains tomorrow. … ②

『もし明日雨がふったら、私たちはテニスをする事ができません。』

☆ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文

※ **if** には「~かどうか」の意味もある。

→ 【No. 729 … care】【No. 1132 … might】の例文も参照のこと。

※ **if**, because, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。

… 接続詞が文頭にある文では、文中に、(コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

603 ㊦ **bring** [ブリング]

㊦ ~を持ってくる、連れてくる  
(⇔ take 「~を持っていく、連れていく」)  
→ 【単語帳 No. 140 … take】

活用 : brought [ブロード]  
- brought - bringing

3単現形 : brings [ブリングス]

**bring up** 『(子供を)育てる、しつける』

**bring back** ~ 『~を持って[連れて]帰る、(持ち主などに返す)』

**bring** [人][物] 『[人]に[物]を持ってくる』

= **bring** [物] to [人]

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】参照。

**Bring** me the book. 『私にその本を持ってきて。』

= **Bring** the book to me.

What **brings** you here?

(→ 『何があなたをここに連れてきたのですか?』)

→ 『どうしてここに来たのですか?』

Ken was **brought up** in Tokyo. 『ケン(は)は東京で育った。』

※ 受け身[受動態]の文… 「育てられた」→ 「育った」と訳している

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

604

☑ off [オ(一)ふ] (⇔ on)

☞ 離れて、はずれて、とれて  
(電気・ガスなどが)切れて、(仕事を)休んで

☞ ~から離れて

at 30 percent [パセント] off 『30%引きで』  
take off ~ 『~を脱ぐ (⇔ put on ~)、  
(飛行機が)離陸する (⇔ land)』  
→ 【単語帳 No. 952… land】

turn off ~ 『~のスイッチを消す』  
(⇔ turn on ~)

get off ~ 『~を降りる』 (⇔ get on ~)

☆ off には **形容詞** の用法もある。

the off season 『シーズンオフ』

This plane is going to take **off** in five minutes.  
『この飛行機は5分後に離陸します。』

She took **off** her coat. 『彼女はコートを脱ぎました。』

Turn **off** the TV [light]. 『テレビ[明かり]を消しなさい。』

I'm **off** today. 『私は今日は仕事が休みです。』

Get **off** the train. 『その電車を降りなさい。』

Keep **off** the grass. 『芝生(しばふ)に入るな。』【掲示】  
※ grass [グ<sup>ラ</sup>ス(一)ス]「芝生(しばふ)、草」

☆ 上記の2つの文の **off** はどちらも **副詞** とする考え方もある。

My father was **off** work yesterday.  
『私の父は昨日仕事を休んだ。』

605

☑ between [ビトゥ<sup>ウ</sup>イーン] **アクセント注意**

☞ (2つ・2人)の間に[で、の]

**between** ~ and ... 『~と…の間に』

**between** ... 2つ・2人の間に  
あることを表す。

among ... 3つ・3人以上の間に  
あることを表す。  
→ 【単語帳 No. 609】

This train runs **between** Tokyo and Osaka.  
『この電車は東京と大阪の間を走ります。』

Come here **between** three and four (o'clock).  
『3時から4時の間にここに来なさい。』

Who is that man standing **between** Emi and Ken?  
『エミをケンの間に立っているあの男性はだれですか?』

This is **between** you and me. 『これはここだけの話ですよ。』  
※ 内緒話をするときや、秘密を打ち明けるときに使う表現。

606

☑ could [クッド] ※ could は can の過去形 → 【単語帳 No. 581… can】参照。

☞ ① <<canの過去形>> ~できた  
② 【ていねいな依頼の文に使う語】

<<短縮形>> **could** not = **couldn't**

**Could** you ~ ?  
『~していただけますか?』

※ Can you ~ ? 「~してくれますか?」  
よりもていねいな表現になる。

☆ Would you ~ ? と Will you ~ ? の  
関係と同様。→ 【No. 612… would】

They **couldn't** meet Emi at the station. ... (★)  
『彼らは駅でエミに会うことができませんでした。』  
※ この文では **couldn't** = weren't able to ~ (下記の説明を参照)

I knew (that) Tom **could** swim well.  
『私はトムが上手に泳げることを知っていました。』  
※ 主節の動詞が過去形(knew)なので、that の後ろの  
文の時制も過去形になる。<<時制の一致>>

**Could** you (please) open the window ?  
『その窓を開けていただけますか?』  
※ please を使うこともある。

<<書き換え>> can = be able to → **could** = was [were] able to ~ ※ be 動詞は主語に応じて使い分ける。

上記(★)の書き換え … They weren't able to [← **couldn't**] meet Emi at the station.

☆ **could** には「(しようとせば) ~できた(のだが…)」という意味を含む用法がある。そのため、単純に「~できた」という意味では、**could** よりも was [were] able to ~ を使うほうがふつう。(以下の例文を参照のこと)

I was able to answer the question. 『私はその質問に答えることができました。』

I **could** run faster. 『私は(走ろうと思えば)もっと速く走ることができました。』

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル単語帳 〕

607  
☒ **lend** [レンド]動 ～を貸す  
(⇔ borrow [No. 647])活用 : lend [レント]  
- lent - lending  
3単現形 : lends [レンツ]**lend** [人] [物] = **lend** [物] to [人] 『[人] に [物] を貸す』  
※ くわしくは、かんたん英文法【第3文型と第4文型】参照。Will you **lend** me this book? 『この本を私に貸していただけますか?』  
= Will you **lend** this book to me?I **lent** Tom some pens. 『私はトムにペンを何本か貸しました。』  
= I **lent** some pens to Tom.

※ 上記はどちらも、上の英文が第4文型の文、下の英文が第3文型の文。

608  
☒ **than** [ざあん]接 ～よりも、～に比べて  
【比較級(…) + than ~ の形で使う】more ... **than** ~ 『～よりも…』  
more **than** ~ 『～以上の』  
→ 【No. 448 … more】  
比較級(…) + **than**  
any other + 単数名詞(~)  
『他のどの～よりも…』  
※ 比較級の文だが、内容的には  
最上級のような意味になる。He is younger [more famous] **than** I [me].  
『彼は私よりも若い[有名]です。』

※ I の後ろには am が省略されている。

※ 口語では **than** I (am) のかわりに **than** me を使うことがある。I like summer better **than** winter. 『私は冬より夏が好きです。』Mt. Fuji is higher **than** any other mountain in Japan.  
『富士山は日本で他のどの山よりも高い。』※ 内容的に最上級の文と同意なので、最上級の文と書き換えることができる。  
→ 【No. 109 … any】、【No. 594 … other】= Mt. Fuji is the highest (mountain) in Japan.  
『富士山は日本で1番高い(山)です。』609  
☒ **among** [アマング]

発音注意

前 (3つ・3人以上)の間に[で、の]

**among** … 3つ・3人以上の間  
にあることを表す。between … 2つ・2人の間に  
あることを表す。  
→ 【単語帳 No. 605】I saw a big bird **among** the trees.  
『私は木々の間にとても大きい鳥を見ました。』Ms. Aida is standing **among** the students.  
『相田先生はその生徒たちの間に(囲まれて)立っています。』Soccer is very popular **among** young people.  
『サッカーは若者の間でとても人気があります。』  
→ 【No. 434 … popular】610  
☒ **put** [プット]

動 ～を置く、のせる、入れる

活用 : put [プット]  
- put - putting活用  
注意~ing  
注意

3単現形 : puts [プツ]

**put** on ~ 『～を身に着ける』  
→ 右の説明を参照のこと。**put** off ~ 『～を延期する』**put** out ~ 『(火・明かりなど)を消す』**put** ~ into … 『～を…に入れる、  
～を…に訳す[翻訳する]』Meg **put** the book on the table.  
『メグはその本をそのテーブルの上に置きました。』  
※ 3単現の s がないので、この **put** は過去形。**put** on ~ 『～を身に着ける、着る、  
(帽子など)をかぶる、(靴)をはく』  
⇔ take off ~ 『～を脱ぐ』 → 【単語帳 No. 140 … take】  
☆ wear は「身に着けている」状態を表す。 → 【単語帳 No. 576】**Put** on this jacket. 『この上着を着なさい。』  
= **Put** this jacket on.  
(… **put** と on の間に名詞をおくこともできる)※ 目的語が代名詞のときは **put** と on の間に代名詞をおく。  
He **put** it on. 『彼はそれを身に着けました。』